

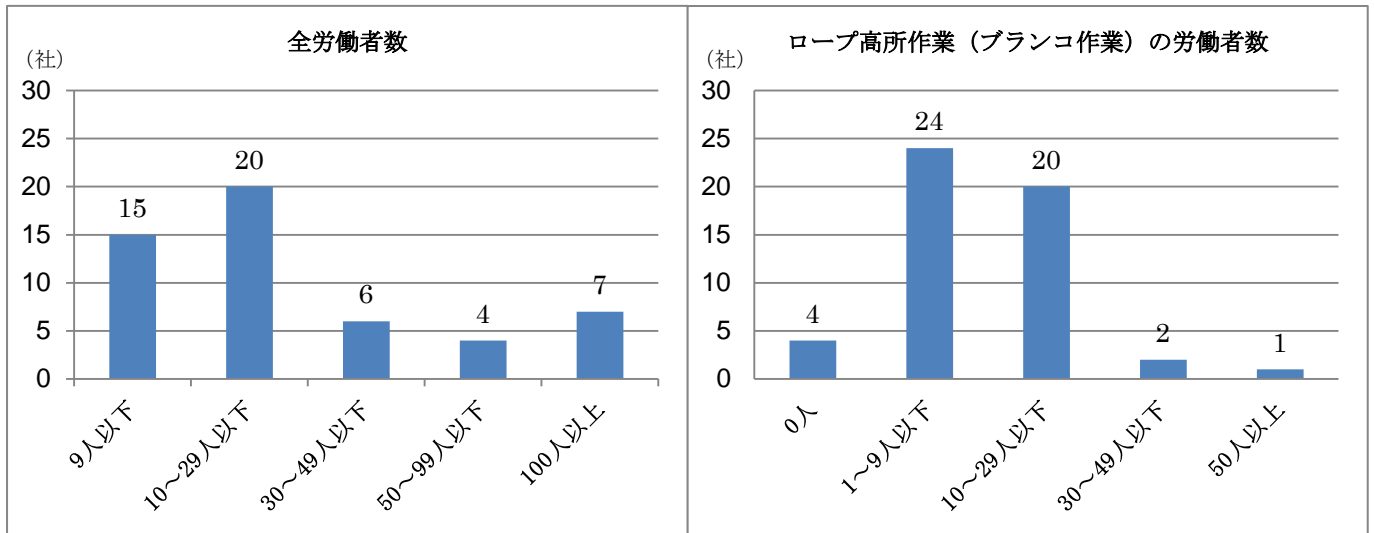
ビルの窓ガラス及び外壁清掃作業における職場の安全衛生自主点検結果

対象 東京都内でビルの窓ガラス及び外壁清掃作業を行っている事業場

回答 52事業場(回答率 53%)

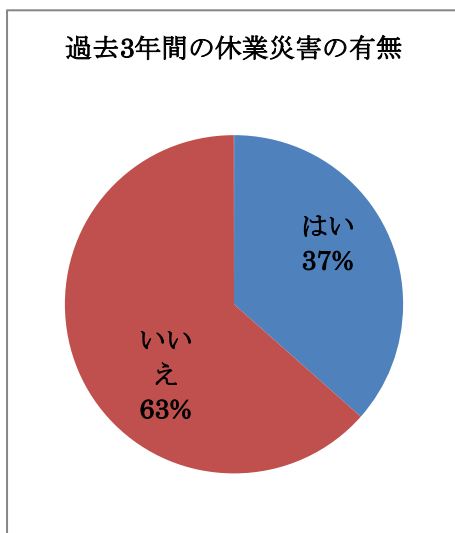
(なお、項目3, 4, 5の質問項目については、このうちロープ高所作業(ブランコ作業)を行う労働者が在籍している48事業場について集計しています。)

回答事業場の労働者数とロープ高所作業(ブランコ作業)の労働者数



1 労働災害の発生について

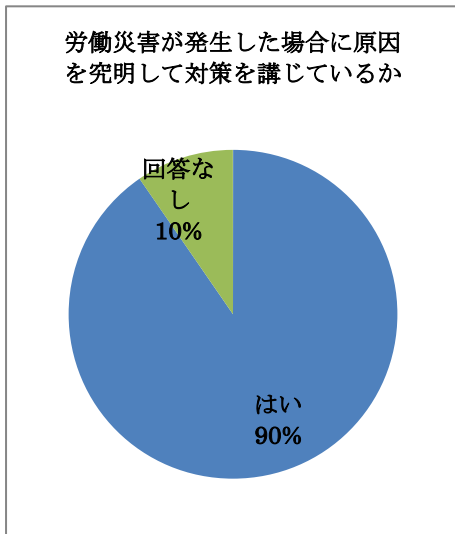
① 過去3年間の間に休業4日以上労働災害が発生しましたか。



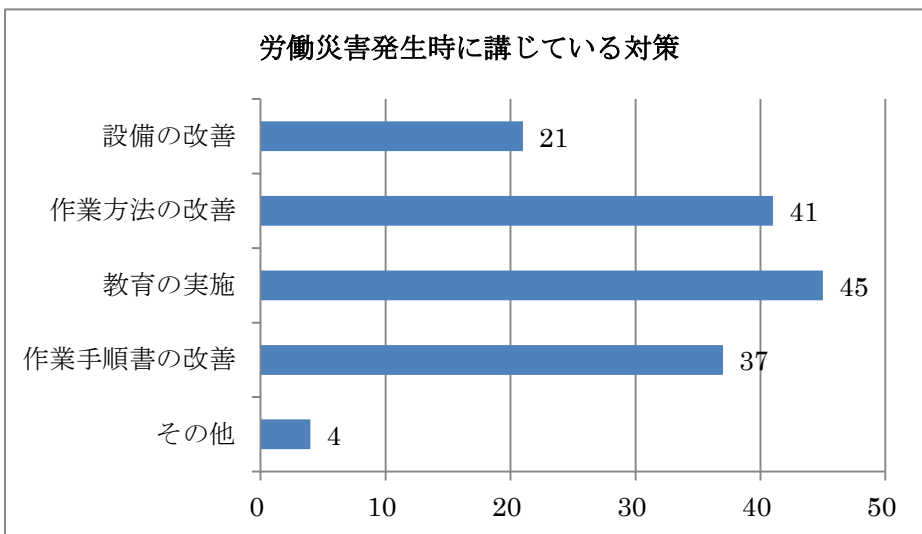
② ①が「はい」の場合、何件発生しましたか。

回答合計 ロープ高所作業 11件 その他 20件

④ 労働災害が発生した場合、原因を究明して対策を講じていますか。



⑤ ④で「はい」の場合、どのような対策を講じていますか(複数回答)。

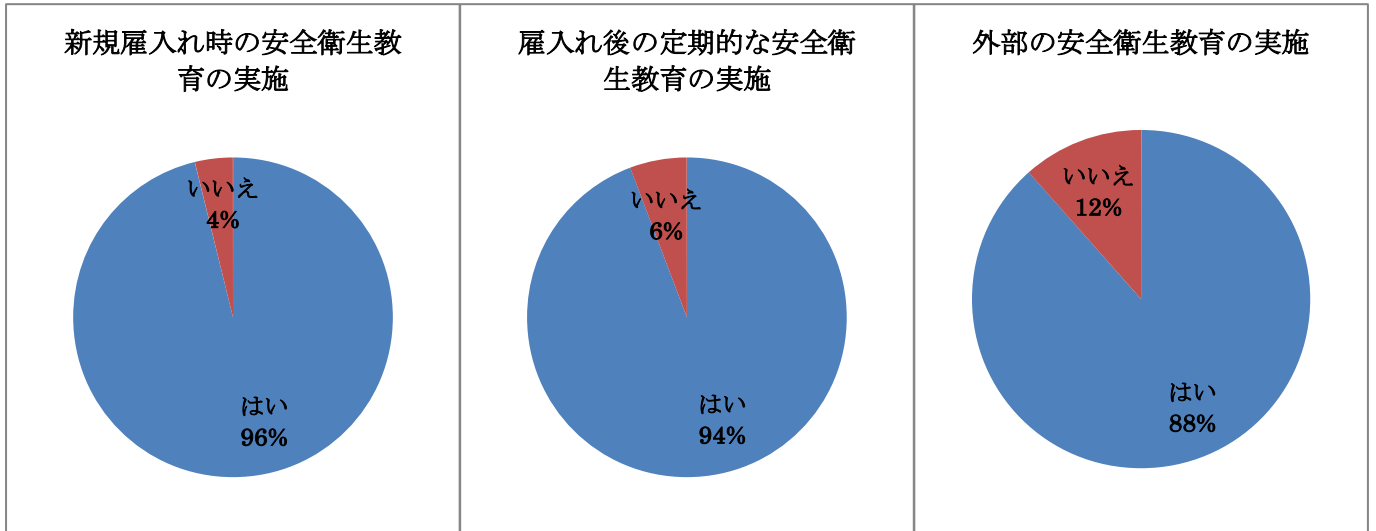


過去3年間の休業災害については、37%の事業場で発生しているという結果となりました。内訳を見ると、ロープ高所作業に係る災害が11件、その他が20件となっています。件数の多いロープ高所作業以外のその他の災害防止についても対策が必要です。また、ロープ高所作業に係る災害は件数が少ないものの、一度発生するとより重篤な災害となるため、より緻密な災害防止対策が必要です。

労働災害が発生した場合に対策を講じているかという質問については、講じていないとの回答はありませんでした。なお、過去3年間で災害が発生している企業については、全ての事業場で対策を講じたという回答が得られています。引き続き、発生した災害について、同種災害を防止するための対策をお願いします。

2 安全衛生教育について

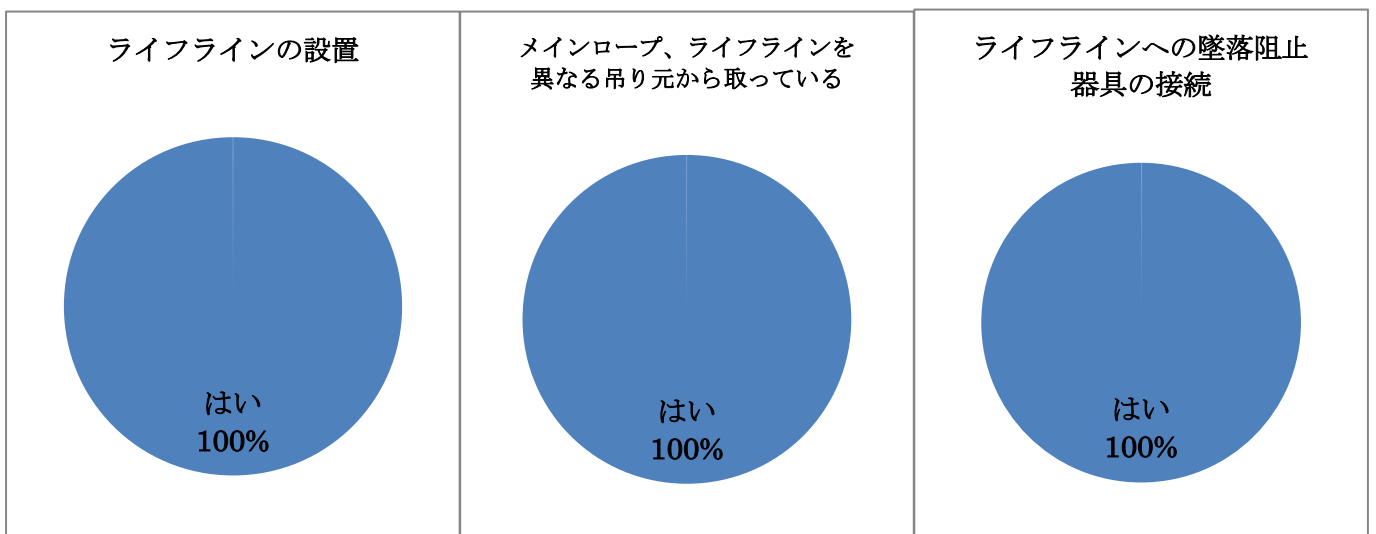
- ① 新規雇入れ時に安全衛生教育を実施していますか。
- ② 雇入れ後も定期的に安全衛生教育を実施していますか。
- ③ 外部の安全衛生教育を受けさせていますか。



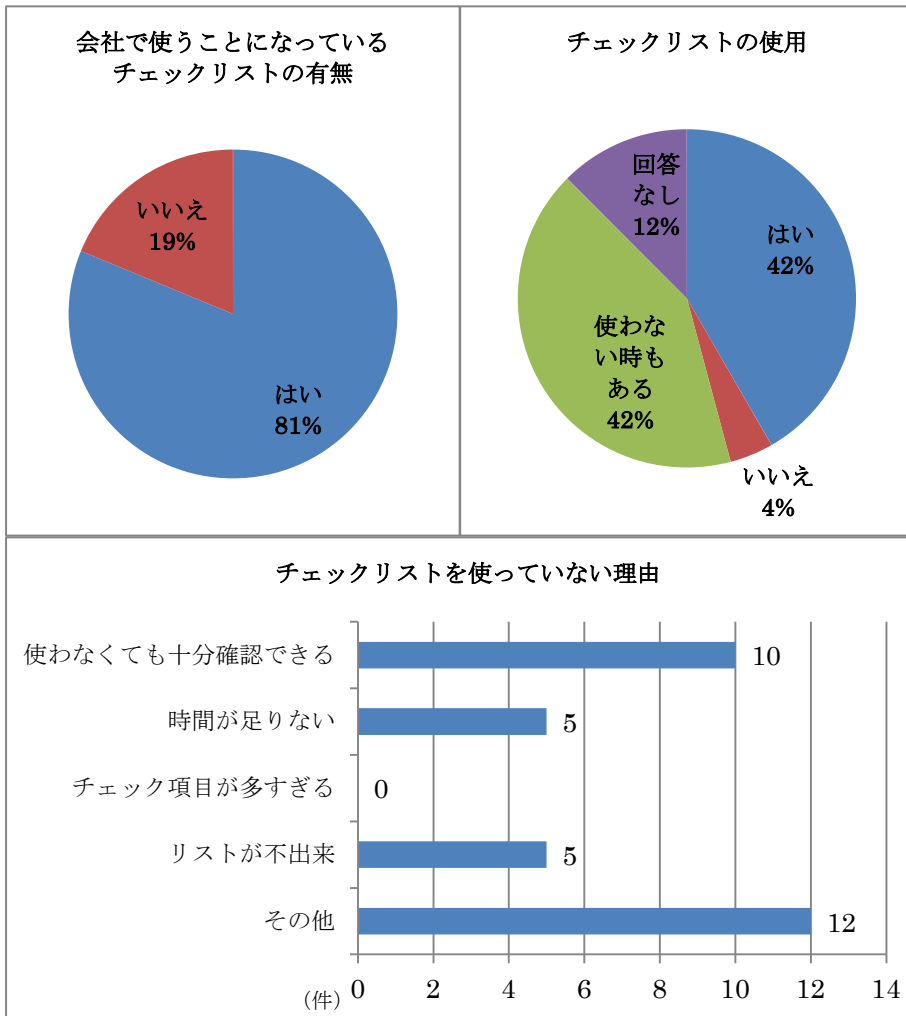
安全衛生教育については多くの企業で実施されているという結果となりました。なお、教育については、入社時に一回だけでなく、繰り返し教育が有効です。再教育や作業変更時についても基準を決めて定期的に実施していただくようお願いします。外部の専門家による安全衛生教育を受けることも、技術と安全の向上に有効です。また、教育を実施していない企業においては、実施をしていただくようお願いします。

3 ロープ高所作業(ブランク作業)の墜落防止対策について

- ① メインロープの他に必ずライフラインを設けていますか。
- ② メインロープ、ライフラインはそれぞれ異なる吊り元から取っていますか。
- ③ ライフラインには必ず墜落阻止器具を接続していますか。



- ④ 会社で使うことになっている作業用のチェックリストはありますか。
- ⑤ ④のチェックリストは使われていますか。
- ⑥ チェックリストを使っていない場合、その理由はなんですか。(複数回答)



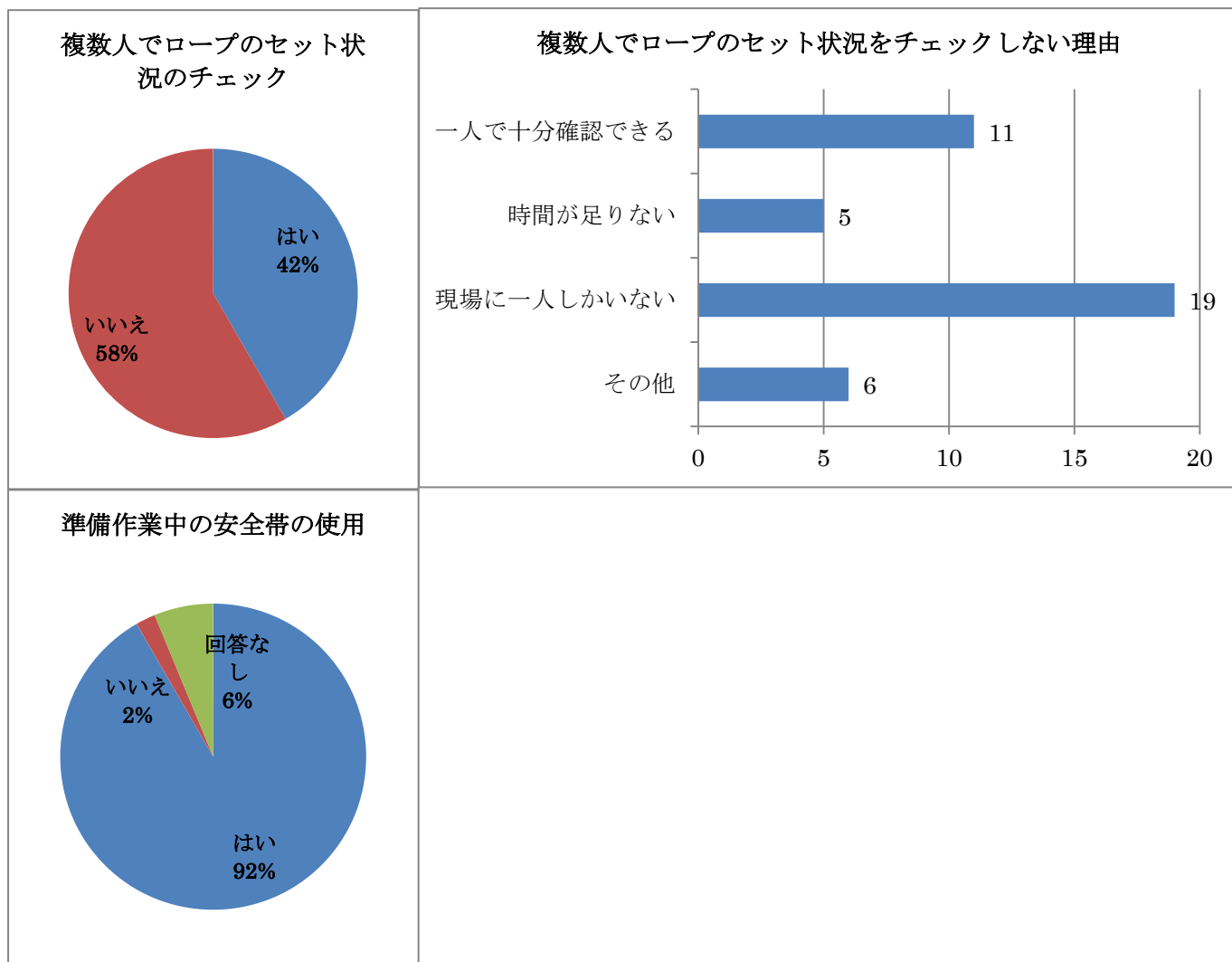
ライフラインの設置、メインロープとライフラインを異なる吊り元から取る、ライフラインへの墜落阻止器具の接続といった対策については、全ての事業場で実施しているという結果が得られました。しかし、実際にはこれらの措置が行われていなかったことによる災害がたびたび発生しています。これらの対策の徹底を引き続きお願いします。

チェックリストについては、会社で使うことになっているチェックリストが無いとの回答が 19%ありました。また、チェックリストが作成されていても、使わない時もあるという回答が多くありました。チェックリストを使っていない理由としては、使わなくても十分確認できるとの回答が多くを占めましたが、過去の災害を見ると、つい、うっかりのミスにより重大な災害が発生しています。これを防止するためにはチェックリストが有効です。別添の「ガラス清掃による死亡災害が急増しています！」のパンフレットにおいては、過去の災害から見た、最低限の項目についてのチェックリストを作成しました。チェックリストが使用されていない事業場においては、まずは、このチェックリストを使用させていただきようお願いします。

⑦ ロープのセット状況について、複数人でチェックしてから作業をしていますか。

⑧ ⑦が「いいえ」の場合、その理由はなんですか。(複数回答)

⑨ ロープのセットなど準備作業中も安全帯を使用して作業を行っていますか。



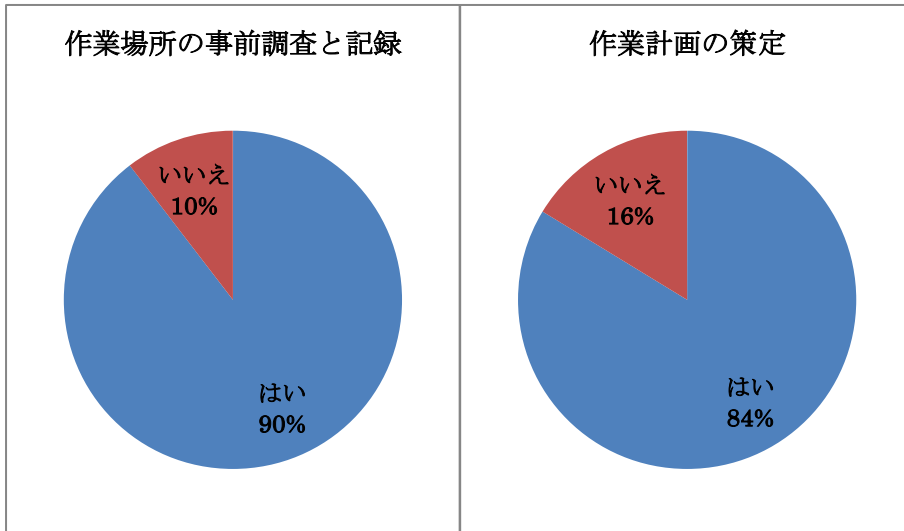
ロープのセット状況について、複数人でチェックしているかの質問については、いいえが過半数を占める結果となりました。また、回答者の迷いが見える質問となり、「はい」と「いいえ」の両方にチェックをしている回答も多くなりましたが、これらは「いいえ」で集計しています。迷いの原因は一人作業があるためであり、一人作業以外では複数人でチェックしてから作業をしていますとの回答がありました。この回答のように、一人作業以外では複数人で必ずチェックをしてから作業を行うようお願いします。

当然、複数人での作業が望ましいものですが、やむを得ず一人作業を行う時には、前記のチェックリストを確実に使用し、より慎重に作業を行うようお願いします。

4 作業計画・作業手順書について

① ブランコ作業を行う場所の状況、十分な強度を有するロープの緊結元の有無及びその位置など、あらかじめ作業を行う場所の状況を調査し、その結果を記録して作業していますか。

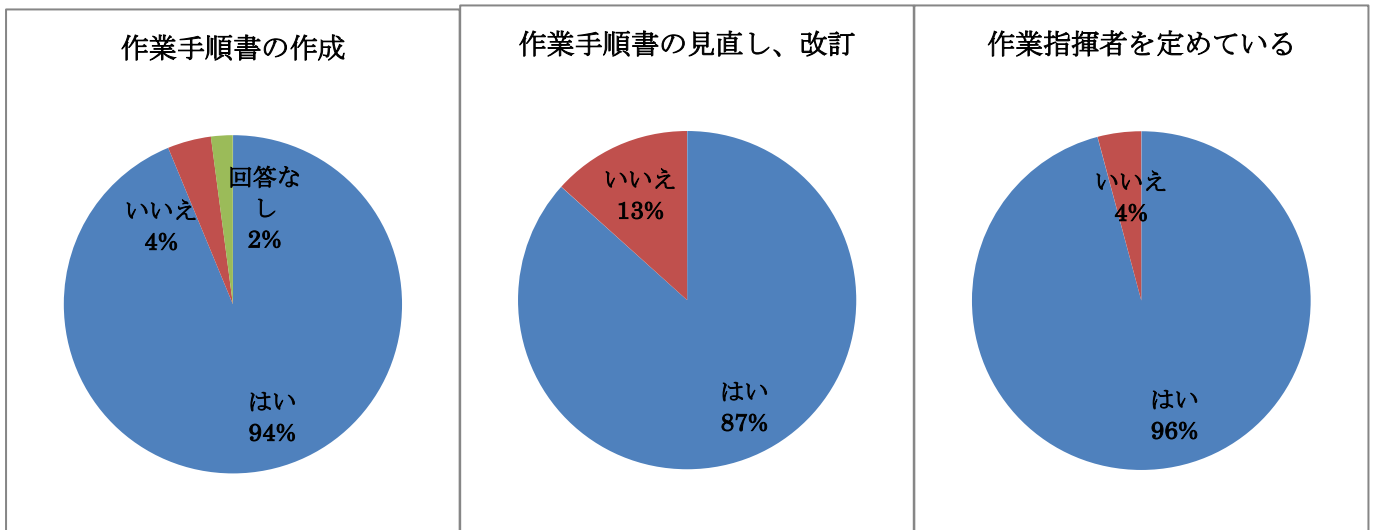
② ①の結果に基づいてあらかじめ作業計画を策定して作業を行っていますか。



③ 作業手順書(マニュアル)を作成していますか。

④ ③の見直しや改訂を行っていますか。

⑤ 作業指揮者を定めて作業を行っていますか。

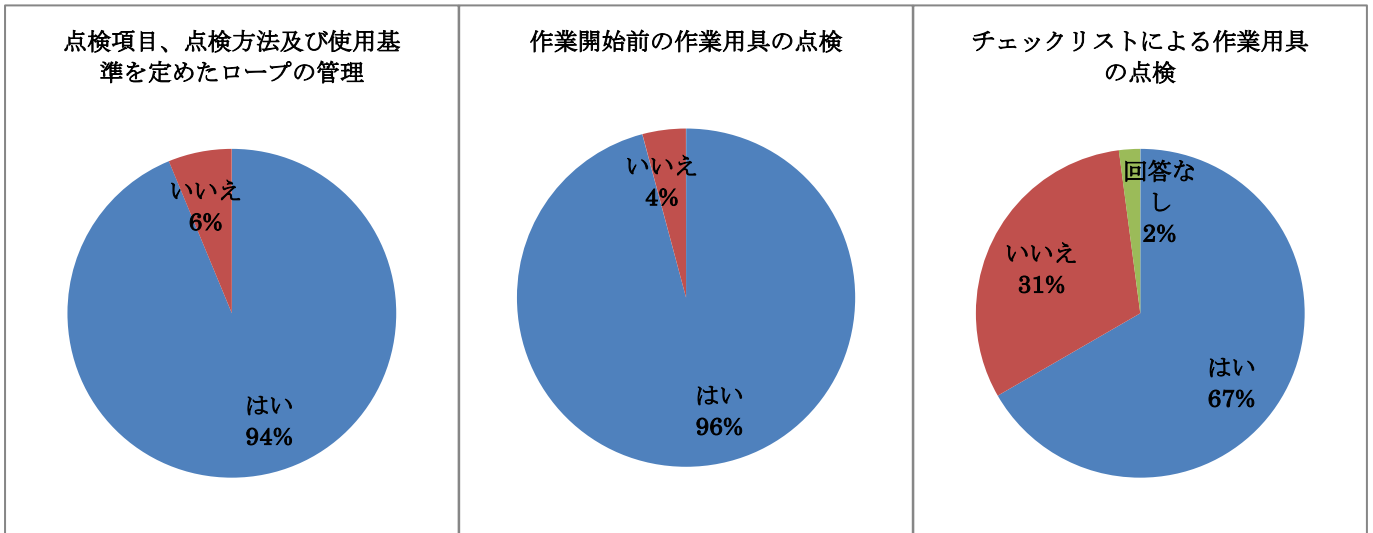


作業場所の事前調査と記録、作業計画の策定については、ライフラインの設置などの直接的な対策と比べると、行っていない企業が多くなっております。しかし、これらの対策についても、平成27年1月1日以降、法令において義務付けられますので、確実な実施をして下さい。また作業指揮者を定めることも義務付けられます。

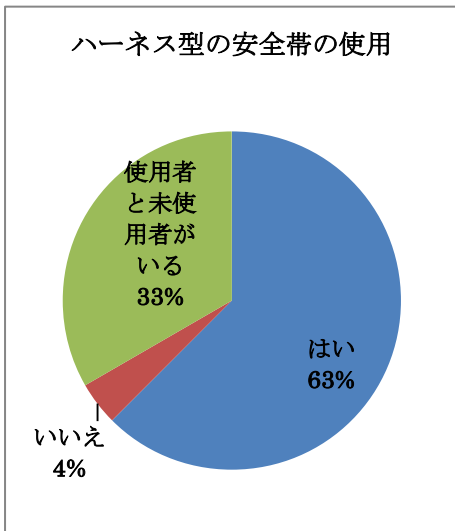
作業手順書については、見直し・改訂を行っている企業の割合が少なくなっています。作業手順書はあるが使われていないという状況を防ぐために、定期的に見直しを行って、より使いやすい作業手順書にしていくことが有効です。

5 作業用具について

- ① 作業に使用するロープについて、点検項目、点検方法及び使用基準を定めて管理し、管理していないロープは使わないようにしていますか。
- ② 作業開始前に作業用具の点検を行っていますか。
- ③ 作業用具の点検はチェックリストにより行っていますか。



- ④ ハーネス型の安全帯を使っていますか。



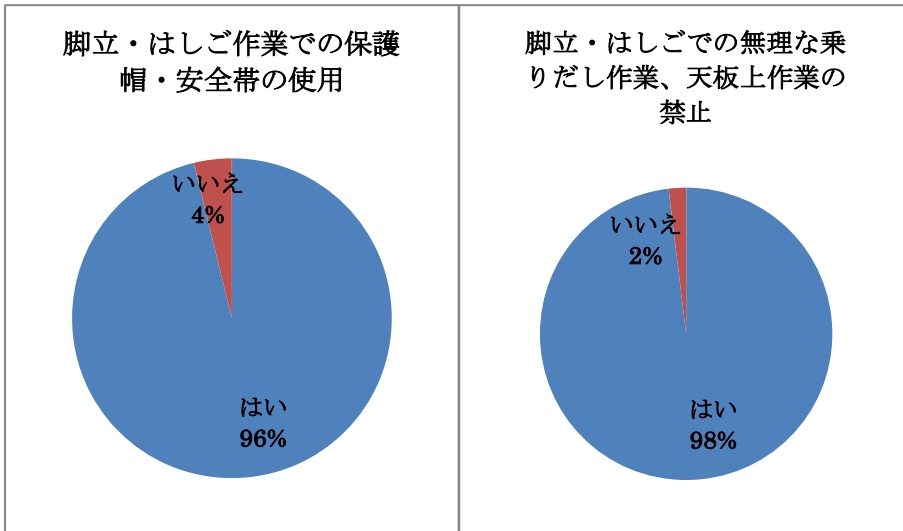
高所ロープ作業に使用するロープについては、外見だけでは劣化が判断できないため、点検項目、点検方法及び使用基準を定めて管理することが必要です。管理されていないロープを使用したことによるロープ切断事故も発生しています。その他の作業用具も含め、チェックリストを使用して管理するようお願いします。

また、ハーネス型の安全帯の使用が拡大してきています。より安全な作業のために導入を検討してください。

6 その他の災害防止対策実施について

① 脚立・はしご作業においても、保護帽・安全帯を使用していますか。

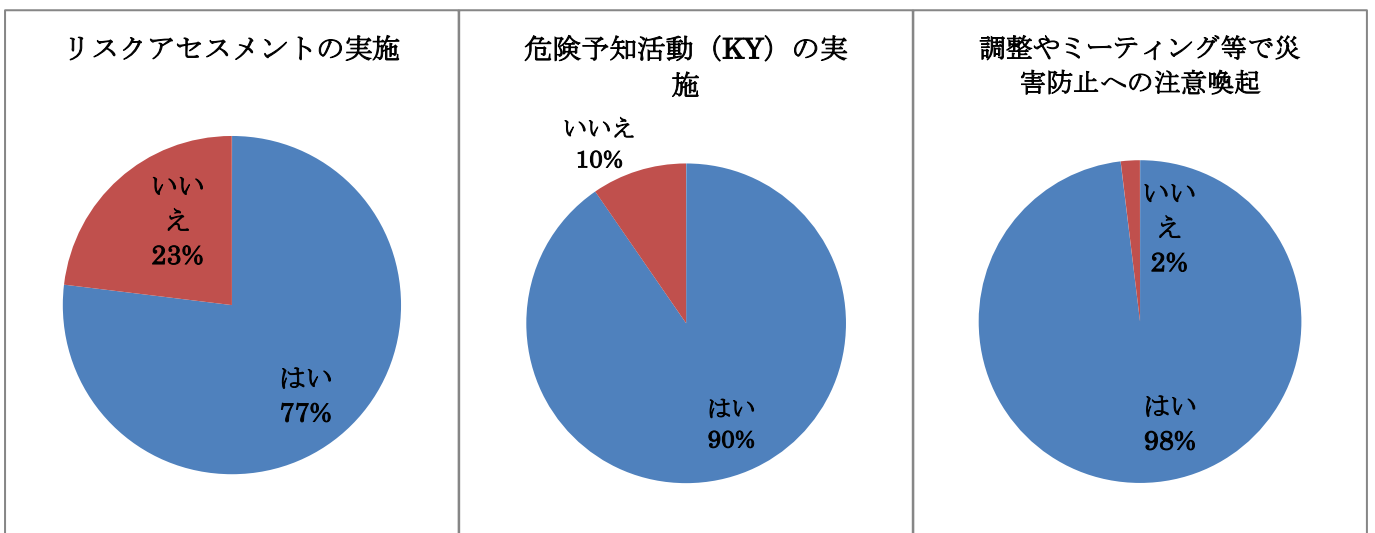
② 脚立・はしご作業において、取扱説明書で禁止されている、無理に乗りだしての作業を行わない、天板上の作業はしない等の教育を行っていますか。



③ リスクアセスメントを実施していますか。

④ 危険予知活動(KY)を実施していますか。

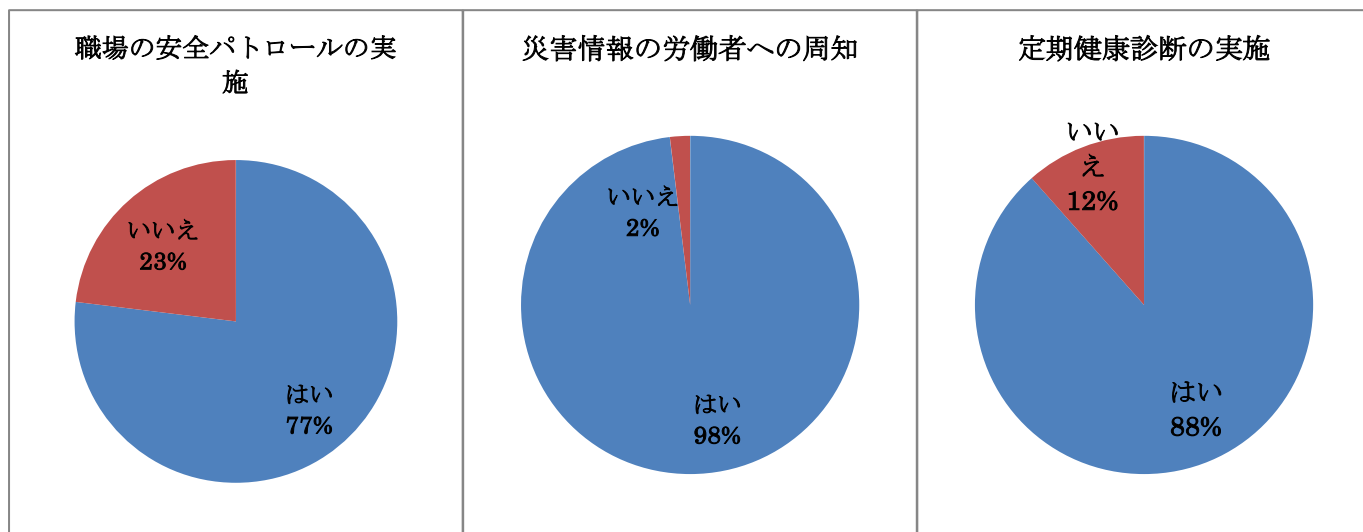
⑤ 朝礼やミーティング等で災害防止への注意喚起は行っていますか。



脚立・はしご作業による災害は業種を問わず多発しており、多くの重篤(休業1か月以上)な災害となっています。脚立・はしご作業についても、無理な作業はしない、安全帯を使用するといった労働災害防止のための対策を徹底していただくようお願いします。

また、作業の中にあるリスクと対策を明らかにし、作業者の方々の労働災害防止に対しての意識付けのためにも、リスクアセスメント、KY活動の実施などが有効です。これらの対策により労働災害防止に対してより進んだ取組が行われるようお願いします。

- ⑥ 職場の安全パトロールを行っていますか。
- ⑦ 災害情報を労働者に周知していますか。
- ⑧ 定期健康診断を実施していますか。



ロープ高所作業(ブランコ作業)の現場においては、各作業者の技術に安全対策を頼っている状況があります。定期的に会社で安全パトロールを実施し、企業全体での取組みにより、各作業者の安全対策の底上げを図って頂くようお願いします。各企業において災害情報を周知していただくことも有効です。また、定期健康診断は確実な実施をし、実施漏れがないようにしてください。